

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 2020 年 3 月 18 日

| | | | |
|--|-------------------------------|-----|-----------------|
| 設置・運営主体 | 春日部市 | | |
| 設置主体 | 春日部市 | | |
| 経営主体 | 春日部市 | | |
| 事業所名 (施設名) | 春日部市立第3保育所 | 種別 | 保育所 |
| 所在地 | 〒 344-0011 埼玉県春日部市粕壁6823番地 | | |
| 電話 | 048-752-0736 | | |
| FAX | 048-752-0736 | | |
| Email | hoiku03@city.kasukabe.lg.jp | | |
| URL | | | |
| 施設長氏名 | 新宅 美香 | | |
| 調査対応担当者 | 新宅 美香 (所属、職名：春日部市立第3保育所 所長) | | |
| 利用定員 | 100名 | 開設年 | 昭和 44 年 7 月 1 日 |
| 理念・基本方針 | | | |
| <p>【保育理念】 一人ひとりの子どもに寄り添い、家庭や地域の人々と協力し合って、豊かな人間性を持った子どもを育成します。</p> <p>【保育目標】 明るく元気な子 思いやりのある子 自分で考えて行動できる子</p> <p>【保育方針】 (1) 心身共に健康に、安全で安定して過ごすことのできる環境の中で楽しく活動します。 (2) 地域の人や異年齢・異文化の様々な関わりを通して一緒に遊ぶ楽しさを体験しながら、優しい心を育みます。 (3) 自然や身の回りの様々なものを遊びに取り入れ、物を大切にすることや生命の尊さに気づける経験を重ねていきます。 (4) 「おもしろい」「やってみたい」という気持ちを大切に、意欲的に様々な活動に取り組む中で、自己を十分に発揮する力を育みます。 (5) ことばへの興味や関心を育て、豊かな心・思考力・表現力の基礎を培います。 (6) 一人ひとりを大切に、個性や個人差に配慮した保育を行います。 (7) 地域から信頼される保育所をめざし、積極的に子育て支援を行います。</p> | | | |
| 開所時間 (通所施設のみ) | 月曜日～土曜日 7:00～19:00 | | |

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

| | 定員 | 利用児童数 | クラス数 | 1クラスあたり 平均児童数 | 1クラスあたり 平均保育士数 |
|-----|-----|-------|-------------|------------------|-------------------|
| 0歳児 | 9 | 8 | 1 | | 3 |
| 1歳児 | 12 | 11 | 1 | | 3 |
| 2歳児 | 18 | 18 | 1 | | 3 |
| 3歳児 | 20 | 19 | 1 (混合保育) | | 2 |
| 4歳児 | 20 | 17 | | | |
| 5歳児 | 21 | 20 | 1 | | 2 |
| 計 | 100 | 93 | 5 | — | — |

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

| | | | |
|--------|------------|----------|---------------|
| 常勤職員数 | | 17人 | |
| うち | 保育士 | 15人 | 保健師・看護師 人 |
| | 栄養士・調理員 | 2人 | その他（委託調理員） 2人 |
| 非常勤職員数 | | 6人 | （常勤換算 人） |
| うち | 保育士 | 2人 | （常勤換算 0.96人） |
| | 保健師・看護師 | 0人 | （常勤換算 人） |
| | 栄養士・調理員 | 委託調理員 2人 | （常勤換算 人） |
| | その他（委託用務員） | 2人 | （常勤換算 人） |

（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。

| | | | |
|----------------|----|--------|---------|
| （2）前年度採用・退職の状況 | 採用 | 常勤： 3人 | 非常勤： 3人 |
| | 退職 | 常勤： 3人 | 非常勤： 1人 |

（3）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢 36.6 歳（ 歳）

（4）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数 2.8 年（ 年）

（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。

【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所の場合)

| 事業名 | 実施の有無 | 利用料 |
|-----------------------|-------|-------------|
| 乳児保育 | ○ | － |
| 延長保育 | ○ | 0 |
| 休日保育 | × | |
| 障害児保育 | ○ | － |
| 一時保育 | ○ | 1700又は2000円 |
| 地域子育て支援センター | × | |
| 乳幼児健康支援一時預かり事業（病後児保育） | × | |
| アレルギー等対応給食 | ○ | － |
| その他（事業名： ） | | |

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・平成 31 年度におけるボランティアの受け入れ数（延べ人数）

8 人

・ボランティアの業務

誕生会参加（読み聞かせ、交通安全教室）

【実習生の受け入れ】

・平成 30 年度における実習生の受け入れ数（実数）

社会福祉士 人

介護福祉士 人

その他 保育士 8 人

看護師 8 人

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

| | |
|--------------------|--|
| (1) 建物面積 (保育所分) | 868.3292 m ² |
| | 児童1人あたり 8.68 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員) |
| (2) 園庭面積 | 1781.3 m ² |
| | 児童1人あたり 17.8 m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員) |
| (3) 耐火・耐震構造 | 耐火 <input type="checkbox"/> 1. はい <input checked="" type="checkbox"/> 2. いいえ |
| | 耐震 <input type="checkbox"/> 1. はい <input checked="" type="checkbox"/> 2. いいえ |
| (4) 建築(含大改築)年 | 昭和 44 年 |

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・送迎時のコミュニケーションにより、その時々でのニーズに対応できるよう心がけています。
- ・年度末にアンケート（施設、保育内容、給食についての満足度調査）を実施し、結果を公表しています。
- ・4月に苦情受付に関する掲示を行い、苦情受付窓口を事務所に設置しています。
- ・一日保育士体験を推奨し、保育所生活を実際に体験した上でのご意見を、口頭やアンケートでいただいています。
- ・年3回の懇談会（全体会、個別、保育参観等）を行っています。個別懇談では、場所や時間の工夫を行い、思いを引き出せるようにしています。
- ・保護者会独自のアンケートによる要望書には、回答書を作成し、掲示等で周知しています。

【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

- ・混合クラスのため、年齢別保育を月2回設定し、年齢に合った活動を実施しています。
- ・縦割りグループを作り、異年齢での交流を3年間継続しています。自由遊びからスタートし、外遊びや製作活動へと変化させてきました。また、夏祭りやクリスマス、お店屋さんごっこ等の大きな行事へも縦割りグループのペアで参加しました。異年齢の友達への意識が高まり、思いやりや憧れの気持ちが芽生えています。運動会の入場も異年齢で行い、保護者に好評でした。
- ・サーキット活動を保育テーマとして4年目になります。ホールや所庭を使用し、楽しみながら体を動かすことを目標に取り組みできました。今年度は「心と体を育むサーキット」と題し、関心や意欲を引き出し、一人ひとりの個性を尊重できる運動会の開催を目指しました。運動会の種目にサーキットを取り入れ、子ども、保護者、職員共に、成長を喜び合える行事となりました。後半は、異年齢での取り組みを増やし、公開日を設け参観してもらおう予定です。
- ・一日保育士体験事業を開始し、9年目となります。口頭のみでのコミュニケーションでは伝わりきらないことを理解しあえる機会となっています。昨年度は53名の参加がありました。今後も参加率向上を目指したいです。
- ・子育て電話相談事業は、広報やホームページで広く市民に周知しています。発達やしつけに関する相談が多く、昨年度2件、今年度3件の相談がありました。
- ・地域交流会を年間20回行っています。シール貼りを楽しみに毎回参加する方や入所希望の見学を兼ねた方がいます。
- ・発達言語相談事業を年間2回行っています。広報や子育て配信メールで周知し、電話受付を行っています。言語聴覚士による指導を個別に1時間枠で行っています。

【第三者評価の受審状況】

- ・受審回数（前回の受審時期）

0 回 （平成 年度）